

# 令和3年度 さいたま市立上木崎学校 学校関係者評価書

さいたま市立上木崎小学校  
学校関係者評価委員長 福岡 幸子

## 1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 学校評議員 8名(大原中学校長含む)  
(2) 実施回数 2回

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止、まん延防止等重点措置期間中のため、第2回は紙面会議とし、「学校評価結果」「学校評価結果の考察及び検討課題への対応・改善策」「学校評価自己評価書」「自己評価に対する学校関係者評価表」を学校評議員、学校関係者評価委員に文書にて送付し、評価を受けた。

## 2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

### ○「教育課程の編成・実施状況」「各教科等の授業の実施状況」について

- ・ハイブリッド授業にも先生方が工夫をして適切に対応していた。タブレットPCについては、教員によって操作技能の差があるように感じた。今後その差が少なくなり、各学級での学習の差が出ないようにしてほしい。
- ・タブレットPCを有効に活用した授業が行われていた。低学年ではまだ使いこなせない子が多いと思うし、鉛筆を持って字を書くことも大切だと思うので、書くことも大切にしていってほしい。
- ・コロナ禍での授業時間の影響をタブレットPCの活用で着実にカバーしている点は大いに評価できる。児童の興味を上手に学習の方向付けに向ける手法など、改善策などが良かった。
- ・タブレットPCの活用及び、STEAMS TIMEでの小・中連携も必要になると思う。

### ○「生徒指導・いじめ防止・教育相談の状況」について

- ・体制は整っているようだが、保護者の記述を見ると、厳しい意見もあるようだ。引き続きいじめ防止に取り組んでほしい。
- ・あいさつは、学校の雰囲気も明るくなると思うので取組や指導を続けてほしい。登下校時にもあいさつができればいいと思う。
- ・不登校傾向の子も「オンライン授業」参加として、児童個々の課題を発見するのが難しいと思うが、いじめからの不登校には気を付けてほしい。いじめの対応も早めの対応をお願いしたい。
- ・保護者もいじめに対する意識を高めるべき。子ども達や先生方は積極的に学んでいても、親の言葉一つで子どもの意識も変わってしまう。
- ・月1回の生徒指導委員会等の会議では報告のみで終わってしまうのではないかな。十分検討できる時間の確保が必要。
- ・教職員との情報の共有は様々な課題の早期発見や解決につながる大事な基本的取組である。これまで以上に工夫して各関係者との連絡を密にして取り組んでいただきたい。
- ・今後もきめ細かな小・中連携を進めていきたい。

### ○「安全教育の状況」について

- ・集団での登下校ではないので、事故や事件にならないよう引き続き指導をお願いしたい。
- ・道幅の狭い道路の多い学区であるので、交通安全指導の継続が必要である。

### ○「学校における働き方改革の状況」について

- ・コロナ禍になり、感染対策やハイブリッド授業対応で大変かと思う。先生方の勤務の軽減を望む。
- ・教職員の方々の業務多忙の改革を行い軽減を図る必要がある。
- ・新生活様式の中でICT機器の有効活用を図っていただきたい。

## 学校関係者評価を受けた学校の対応

- ・タブレットPCの効果的な活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図るため校内研修を推進するとともに、高学年において9教科担任制、中学年においてグローバル・スタディ・音楽・理科の専科指導を実施し、授業の質の向上と児童の学習内容の理解度・定着度の向上と学びの高度化を図る。
- ・いじめ、不登校に対しては、早期発見・報告を徹底するとともに、学年、生徒指導・教育相談部、いじめ防止対策委員会等において共通理解を図り、組織的に対応する。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、さわやか相談員との連携を密にとり、個に応じた支援と、安心して生活できる学校づくりを行う。
- ・学校評価アンケートの結果と改善策について、今年度以降も具体的に保護者・地域に伝え、学校運営協議会を基幹に計画的・協働的な教育活動を推進・実践する。

さいたま市立上木崎小学校長 鈴木 和博